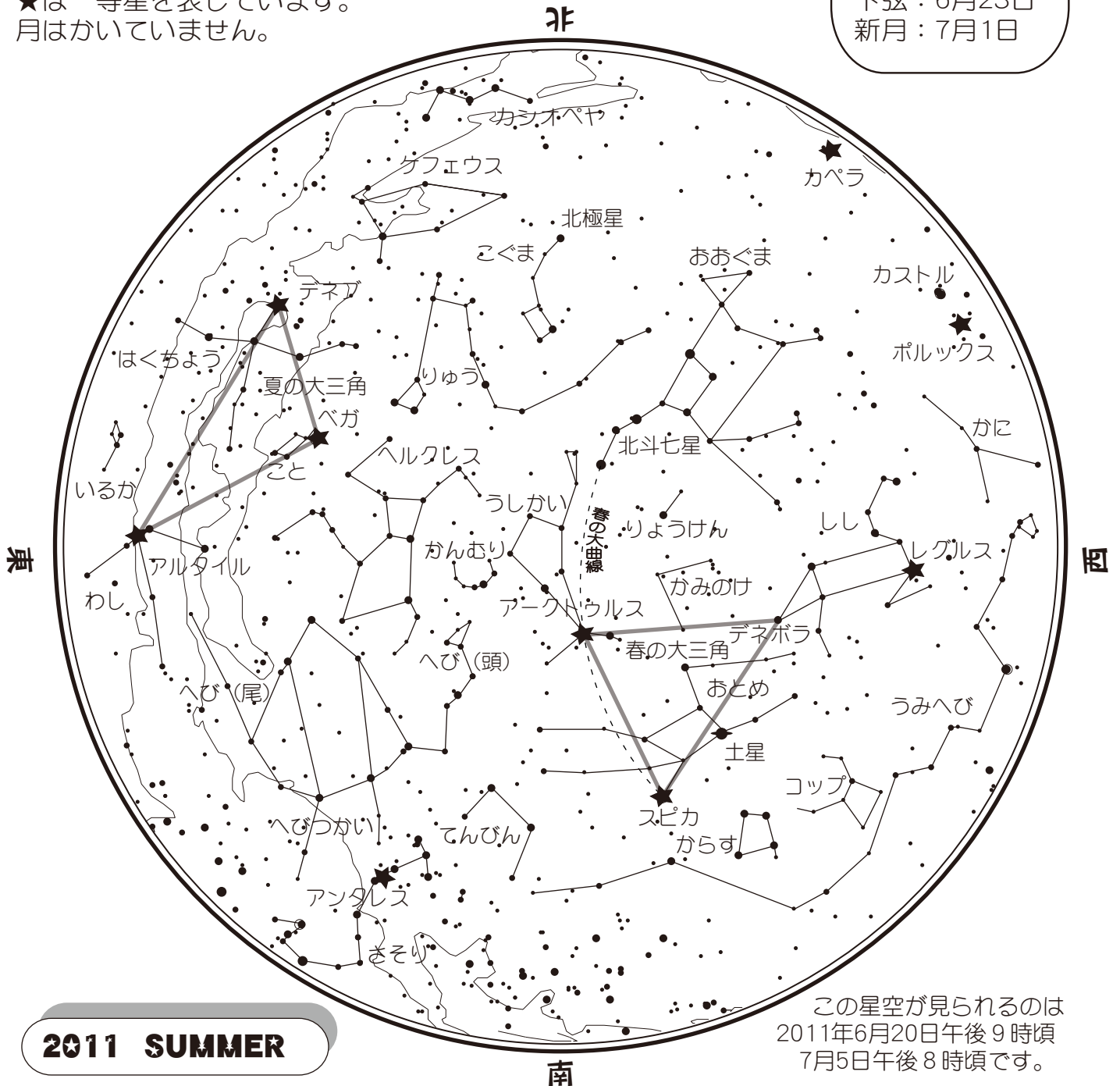


★ 姫路で見る6月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

満月：6月16日
下弦：6月23日
新月：7月1日



2011 SUMMER

梅雨に入って曇りや雨の日が続いていますが、少しずつ星座は春から夏へと移り変わっていきます。晴れ間を見つけて星空を眺めてみましょう。

南から西にかけては春の星座が見えます。しし座、かに座、うみへび座は勇者ヘルクレスに退治された化け物たちの星座です。北の空に見える北斗七星の持ち手の部分のカーブをのぼしていくと「春の大曲線」を描くことができます。春の一等星うしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカを見つける目印です。アークトゥルスとスピカとしし座のしっぽの星デネボラを結んでできるのが「春の大三角」です。

東の空は夏の星座が見えます。七夕伝説の主演である織姫星はこと座のベガ、彦星はわし座のアルタイルです。2つの星とはくちょう座のデネブを結び「夏の大三角」ができあがりします。夏の大三角から南へ天の川をたどっていくと、一等星アンタレスを持つさそり座にたどり着きます。

また、今年はおとめ座の中に土星が見えます。見るなら6月中がおすすめです。